体験授業配布資料（2015 年 7 月 30/31 日）

フランス文学と舞台芸術に見るスペイン趣味
−エル・ベルドゥゴ、パキータ、カルメン−

澤田肇

1　専門に関連する著書・翻訳

1）19 世紀文学　−小説家バルザックを中心として

澤田肇「崩壊する風景を前にして　—バルザック『農民』における楽園の二重性」、中山真彦ほか編『危機のなかの文学　—今、なぜ、文学か？』水声社、2010 年.

『鞠打つ猫の店』澤田肇訳、『バルザック芸術／狂気小説選集①　絵画と狂気篇』水声社、2010 年.

『エル・ベルドゥゴ』澤田肇訳、『バルザック幻想・怪奇小説選集 3』水声社、2007 年.

『バルザック幻想・怪奇小説選集 2　アネットと罪人』私市保彦監訳、澤田肇・片桐祐訳、水声社、2007 年.

2）舞台芸術論

澤田肇『フランス・オペラの魅惑　舞台芸術論のための覚え書き』上智大学出版、2013 年.

澤田肇、吉村和明、ミカエル・デプレ編著『テオフィル・ゴーチエと 19 世紀芸術』、上智大学出版、2014 年.

3）間テクスト性　—パリと諸芸術

澤田肇、北山研二、南明日香編著『パリという首都風景の誕生　フランス大革命期から両大戦間まで』、上智大学出版、2014 年.

Cf. 小説家バルザックとは：日本バルザック研究会＜バルザックホームページ＞
http://133.12.17.160/~balzac/index.html

2　『エル・ベルドゥゴ』（タイトルはスペイン語で、「死刑執行人」という意味）

主人公：ヴィクトール・マルシャン（フランス軍士官）→クララ→フワニート（レガネス侯爵＝首切り人）

1）メンダの小さな町に夜の十二時の鐘が鳴り響いたばかりのことだった。そのとき、一人の若いフランス軍士官が、メンダ城の庭園に沿って続く長いテラスの欄干にもたれ、軍隊生活を送るものによく見られる気楽さとは不似合いな深い物思いにふけっているようであった。しかし、このときの時刻や景色、夜の帳ほど瞑想にうってつけなことはなかったとも言うべきであろう。スペインの美しい空が、彼の頭上に紺碧の丸屋根のように開けていた。星のまたたきと月の柔らかい光が、彼の足下になまめかしく広がる麗しい谷間を照らしていた。花盛りのオレンジの木に寄りかかったその少佐には、自分のいるところから標高で三十メートルあまり下にあるメンダを見ることができた。この町は北風から避難して、

城が建っている岩山のふもとにやってきていたかのようだった。頭の向きを変えると、海が見えた。そのきらめく水面は、眼の前の風景を幅の広い銀色の波でふちどっていた。城はこうこうと照らされていた。舞踏会の楽しげなざわめき、楽団の鳴らす音、何人かの士官とその踊り相手の笑い声が、遠くの波のささやきに混じって、彼のところまでやって来るのだった。（61-62 頁）

2）彼［ヴィクトール］は死刑囚たちの縄をほどくように命じ、自らクララをいすの囚われ人にしていた紐をはずしに行った。彼女は悲しげにほほえんだ。士官は彼女の黒髪、しなやかな体つきにうっとりして、思わずこの若い娘の腕に触れてしまった。彼女は本物のスペイン女だった。彼女にはスペイン女の肌色、スペイン女の目、カールした長いまつげ、それにカラスの羽よりも黒い瞳があった。（68-69 頁）

3　ロマン主義の勝利：フランスでは 1830 年前後に革新的な事件が集中

文学：ヴィクトル・ユゴーの戯曲「エルナニ」（1830）

音楽：エクトル・ベルリオーズ「幻想交響曲」（1830）

美術：ウジェーヌ・ドラクロワ「民衆を導く自由の女神」（1830）

オペラ：マイヤベーア「悪魔のロベール」（1831）

バレエ：フィリッポ・タリオーニ「ラ・シルフィード」（1832）

4　第 2 次スペイン趣味ブームとバレエ

《パキータ》（*Paquita*, 1846 年 4 月 1 日パリ・オペラ座初演）；振付 J・マジリエ、音楽 E・デルデヴェス、台本 P・フーシェとマジリエの合作

　スペイン遠征中のフランス軍士官リュシアンは、ロマ（ジプシー）の娘パキータに魅かれて身分違いの恋に悩む。しかしパキータはフランス貴族の子どもで、幼いころロマにさらわれたことがわかり、スペイン人地方総督の反乱も抑え、幸せな結婚式を迎える。

5　第 3 次スペイン趣味ブームと音楽

《カルメン》（Carmen, 1875 年 3 月 3 日オペラ＝コミック座初演）；作曲ジョルジュ・ビゼー、台本アンリ・メイヤックとリュドヴィク・アレヴィ

　セビリアのタバコ工場で働くカルメンには多勢の男が言いよるが、恋の相手はいつでも自分が選ぶ。有名なハバネラ〈恋は野の鳥〉で「わたしが好いたら、ご用心！」と歌い、カルメンは純朴な兵士ホセに花を投げつける。カルメンに夢中になるこの時からホセの転落が始まる。軍隊を脱走し、カルメンの仲間の密輸団に入る。だが彼女の心はすでに闘牛士エスカミーリョに移っている。逃亡から戻ったホセは闘牛場の前で復縁を迫るが…

文学を通して歴史と文化を知る　−ただの年表ではなく自らの体験として

芸術は人間を救う。文学はすべての芸術の基盤　−人間の真実を見て、表し、伝えるもの